



施工手順書⑩-1

FIVE QUEENS

ファイブクイーンズ

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事 (ステルス枠・インセット枠共通)

①-3.インセット枠仕様

③扉・金物の取付 (ステルス枠・インセット枠共通)

③-1. 片開き戸、親子戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)・引分け戸

⑩ファイブクイーンズ ⑩-1. スイング戸

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認ください。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ

施工手順書2022/10更新

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			取 付 済	扉側上部ヒンジ	扉側下部ヒンジ
部材	数量	備考			
開き戸	1枚				
ヒンジは取付済 【注意】 吊り込む向きあり 後頁P6参照					

建具金物箱		
部材	数量	備考
金物箱	10セットに付1箱	

セット毎に
ビニール梱包

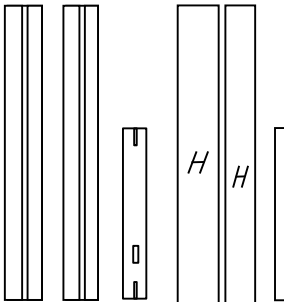
邸別段ボール箱

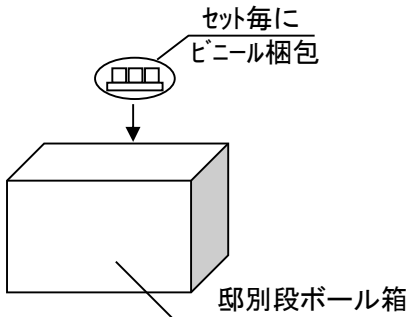
同 梱 品	下部フロアヒンジ受け	フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ	上部フロアヒンジ受け
	六角レンチ(M3・M4)	扉側上部ヒンジ	扉側下部ヒンジ	ヒンジ取付ビス
	扉側下部ヒンジカバー	扉側上部ヒンジカバー	ヒンジカバー取付ビス	
	槍型ハンドルの場合			
	槍型ハンドルの場合	内部チャンネル	横ビス	
		※ハンドル付属部品	※ハンドル付属部品	
	ビス(M8×85)	バネ座金	クッションシート	ゴム製リング
				※使用しません
	槌目ハンドルの場合			
	槌目ハンドル	専用コネクタ	横ビス	
	※ハンドル付属部品	※ハンドル付属部品		
ビス(M4×90)	樹脂プレート	レザーケアキット		
		【注意】 レザーケアキット は必ずお施主様 へお渡しください		

☐ スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ

施工手順書2022/10更新

下地枠			同 梱 品	施工手順書			
部材	数量	備考					
縦枠下地	2本						
上枠下地	1本						
ガラス	2枚						
開口定規	1本						
							

下地金物箱			同 梱 品				
部材	数量	備考					
金物箱	1式						
							

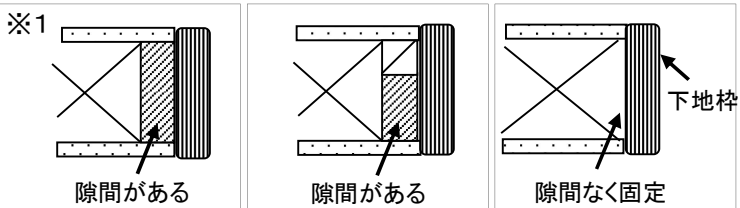
□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ

施工手順書2022/10更新

1 施工前の確認事項

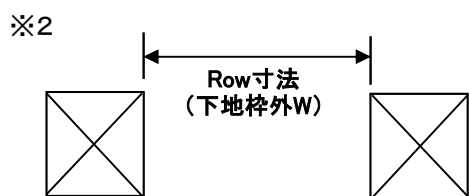
- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。
（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×

×

○



開口寸法の確認

注意

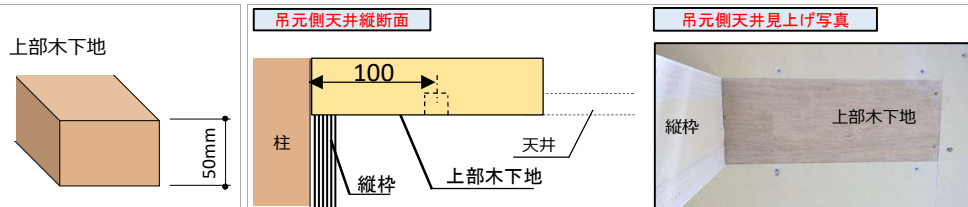
※1：下地枠は躯体（構造材）に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。

※2：施工前のW寸法確認は、納まり図のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。

※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で精度を十分に確認してください。

2 上部木下地の取付け

- ① 吊元側天井に上部ヒンジ受けを取付けるため、厚み50mmの上部木下地を取付けてください。この時、上部木下地は天井高さに合わせてください。
（上部フロアヒンジ受けは吊元側縦枠下地から100mmの位置に取り付けます）



上部木下地を用意する
（厚み50mm）

上部木下地の下端を天井面に合わせて取付ける

注意

※上部木下地は必ず厚み50mm以上にしてください。

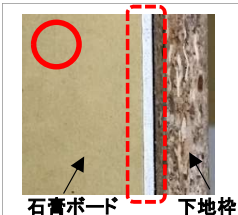
□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ

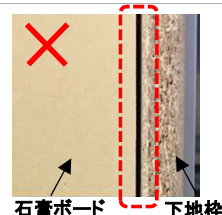
施工手順書2022/10更新

3 石膏ボード・幅木・クロス施工

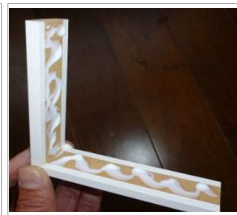
- ① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取付けてください。
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)
※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り、枠との間に隙間ができないように取付けてください。



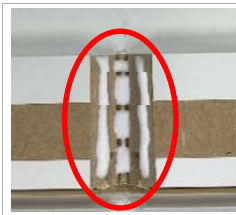
石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす



石膏ボードと石膏ボードの隙間が空いてしまっている

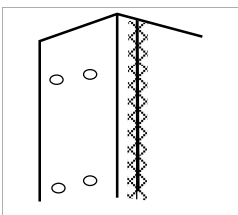


接着剤全面塗布

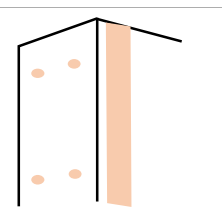


Vカット部分も接着剤を塗布する

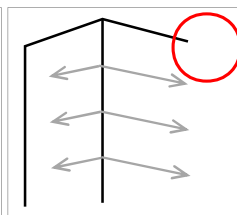
- ② 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。
下地処理が完了した後でクロスを貼って下さい。
金物加工部をまたいでクロスを貼って下さい。



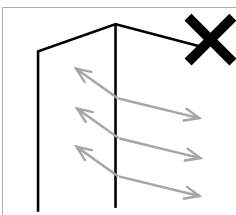
ジョイント部をまたいでメッシュテープを張る



ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕を持ったサイズでまっすぐ貼る



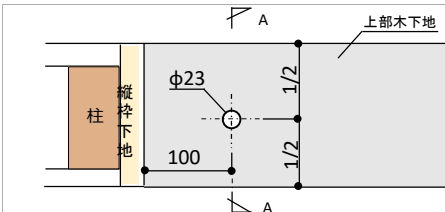
クロスを過度な力で斜めに引張ながら貼るとクロス寄れの原因となる

注意

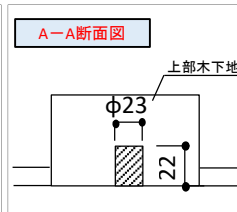
※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合：高さ30mm×深さ7mm)。
※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無いうにしてください。

4 上部木下地の加工

- ① 天井面に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、吊元側縦枠下地から100mmの位置にφ23 深さ22mmの穴加工をしてください。



穴加工位置



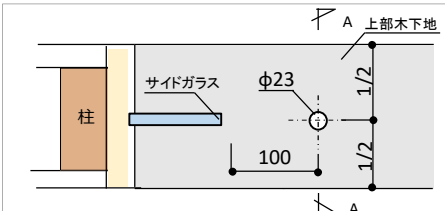
穴加工断面寸法



穴加工見上げ写真

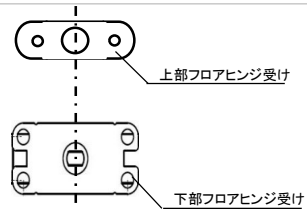
【吊元サイドガラス付きの場合】

天井面に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、吊元側サイドガラスの端部から100mmの位置に加工(φ23 深さ22mm)をしてください。



【吊元側サイドガラスの場合】
サイドガラス端部から100mmの位置に穴加工

注意



上部フロアヒンジ受けのセンターは下部フロアヒンジ受けのセンターとずれないように取り付ける

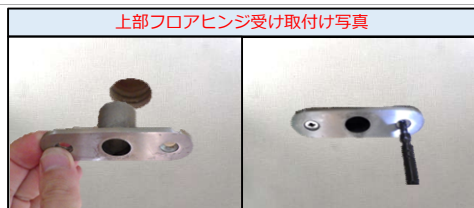
注意

□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ
施工手順書2022/10更新

5 上部フロアヒンジ受け（上枠側）の取付け

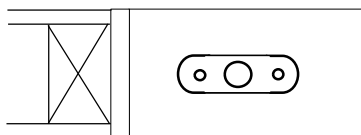
- ① 上部木下地の穴加工部に、上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25半ネジ）で取付けてください。



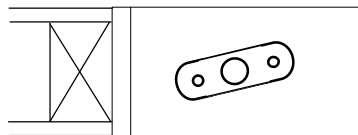
穴加工部に上部フロアヒンジ受けを
同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付け

金物は扉開口に対して平行になる
ように取付けてください。

吊元側天井見上げ図



吊元側天井見上げ図

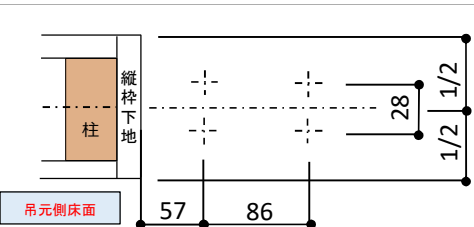


※上部フロアヒンジ受けをビス止めする時は、扉開口に対して平行になるように取付けてください。

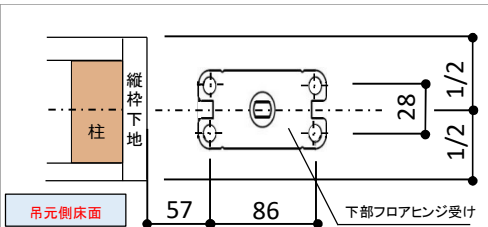
注意

6 下部フロアヒンジ受けの取付け

- ① 吊元側床面に縦枠下地から57mmの位置に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）を空けてください。下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。



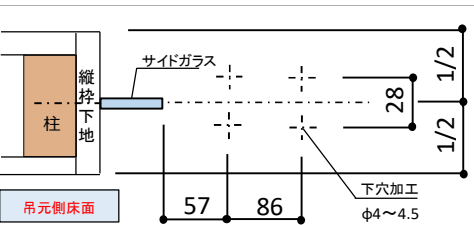
吊元側の床面（上図寸法位置）に下部フロアヒンジ受け用の下穴加工（φ4～4.5）をする（4箇所）



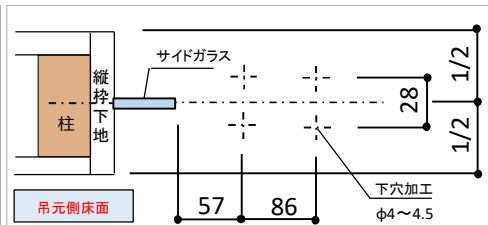
下穴加工位置に合わせて、
同梱のビス（M6×35）4本で止める

【吊元側サイドガラス付の場合】

- 吊元側床面にサイドガラス端部から57mmの位置に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）を空けてください。下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。



【サイドガラスの場合】
サイドガラス端部から57mmの位置に下穴を空ける



下穴加工位置に合わせて、
同梱のビス（M6×35）4本で止める

※下穴加工は寸法通りあけてください。下穴加工位置がずれると下部フロアヒンジ受けが斜めに取付いてしまいます。

注意

□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ
施工手順書2022/10更新

7 扉の吊り込み

- ① 扉と対面し、扉のヒンジ側が右手側にくる向きで、90度開いた状態で下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れてください。



90度開いた状態で、下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れる



右手側＝扉のヒンジ側

注意！

【扉を吊り込む向きに注意】

- ・扉と対面し、右手側＝扉のヒンジ側の向きで吊り込んでください。
- ※フロアヒンジは決められた向きで扉に組込まれて納品されます。
- ・扉は90度開いた状態で吊り込んでください。

【扉の重量に注意】

- ・扉重量は60kg以上となります。
- 安全のため2人以上で吊り込んでください。

- ② 扉を90度開いた状態で、上部フロアヒンジ受けの軸受けと、扉側の上部ヒンジの軸芯を合わせてください。
- 扉側の上部ヒンジ木口面の調整ネジを六角レンチで回し、軸芯を全て出して軸受けに入れてください。



軸受けと軸芯を合わせ、調整ネジを回して軸芯を軸受けに入れる

注意

※軸芯は必ず全て出して、軸受けに入れてください。

※扉側の下部ヒンジの軸が入らない場合は、本手順書「4 扉側下部フロアヒンジ軸の回転」を行ってください。

※本手順の7-①で軸を回転させた同じ向きから扉を吊り込んでください。異なる向きから扉を吊り込むと扉が開く方向に動きます。

8 扉の閉鎖位置調整 及び 開口との隙間調整

- ① まず、下部フロアヒンジ受けの6箇所全ての調整ネジを同梱の六角レンチで緩めてください。
- 扉の閉鎖位置が正常な位置となるように調整して下さい。
- また、開口との隙間が正常な位置となるように調整して下さい。

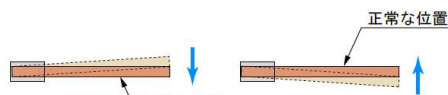
扉の閉鎖位置調整



開口との隙間調整

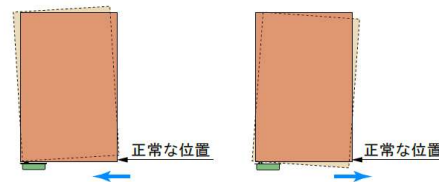


6箇所の調整ネジ（赤矢印部）を同梱の六角レンチ(M3)で「扉の閉鎖位置」と「開口との隙間」を調整



【閉鎖位置の調整】

上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整



【開口との隙間調整】

上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整

注意

※調整をする時は一度6箇所の調整ネジを全て緩めてから調整して下さい。

※調整は、必ず6本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレたり、異音がある可能性があります。

□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

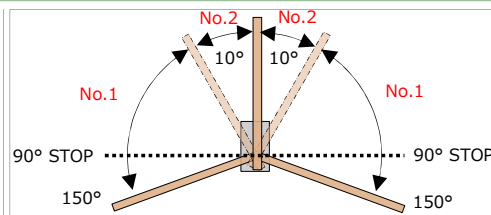
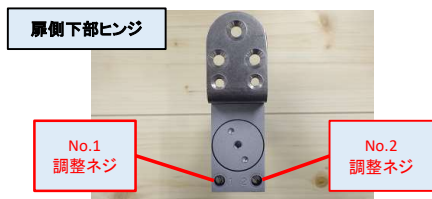
ファイブクイーンズ
施工手順書2022/10更新

9 開閉速度の調整

- ① 扉側の下部ヒンジにある速度調整ネジを回して開閉速度の調整をしてください。

【調整範囲】

- ・ No.1
開閉角度 10°～150°
- ・ No.2
開閉角度 0°～10°



扉側の下部ヒンジにある開閉速度調整ネジ（No.1及びNo.2）をマイナスの手動ドライバーで回して開閉速度を調整

注意

- ※No.1とNo.2の開閉速度の差を極端に変化させないでください。異音が出る恐れがあります。
※No.1とNo.2それぞれの開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。
※No.1とNo.2の開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

10 フロアヒンジの各カバーの取付け

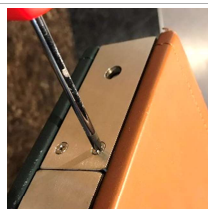
- ① 【扉側ヒンジのカバー取付け】

上側

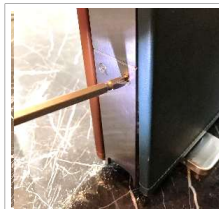
カバーをビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。
※ビスは扉側上部ヒンジで使用したビスと同じものです。

下側

カバーを同梱ビス2本で取付けてください。



上側カバー



下側カバー



上側カバーをビスで取付け

下側カバーを付属のビスで取付け
※ネジは強く締め過ぎないように注意

- ② 【下部フロアヒンジ受けのカバー取付け】

下部フロアヒンジ受けに、戸先側と戸尻側からカバーをはめ込んでください。



下部フロアヒンジ受けのカバー取付け

注意

- ※扉側のカバーをビス止めする時は、手動ドライバーで取付けてください。締め過ぎると、カバーが変形する恐れがあります。

□スイングドア【ファイブクイーンズ専用】

ファイブクイーンズ

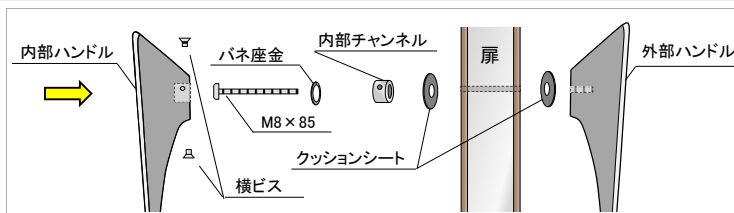
施工手順書2022/10更新

11 ハンドルの取付け

① 【槍型ハンドルの場合】

各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M8×85（1本）のビスで締め込んでください。

最後に、内部チャンネルに内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。

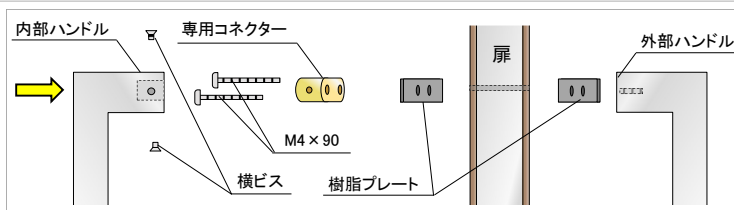


上記の通りに扉を挟み込んで取付ける
最後に内部ハンドルを横ビスにて取付ける

② 【槌目ハンドルの場合】

各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M4×90（2本）のビスで締め込んでください。

最後に、専用コネクタに内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。



上記の通りに扉を挟み込んで取付ける

注意

※槍型ハンドルの場合、同梱されている、ゴム製リングは使用しません。

※槍型ハンドルの場合、ハンドル取り付け部品の内部チャンネルは、内部ハンドルに横ビス2本で取り付けられた状態で納品されております。

※槍型ハンドルの場合、内部側ハンドルを固定する横ビスは、上下で長さが異なりますのでご注意ください。上部横ビス（M4×8）、下部横ビス（M4×12）

※槌目ハンドルの場合、ハンドル取り付け部品の専用コネクタは、内部ハンドルに横ビス2本で取り付けられた状態で納品されております。